

令和5年11月2日

豊田市議会議長
木 本 文 也 様

スポーツを通じたまちの活性化特別委員長

板 垣 清 志



委員派遣承認要求書

本委員会は、次のとおり委員を派遣することに決定しましたので、承認されるよう豊田市議会委員会条例第34条の規定により要求します。

記

1 派遣場所、派遣目的及び内容

豊田スタジアムSSSコース 「SSSコースにおける整備状況及び取組」

本委員会は、世界ラリー選手権を始め、多くの来訪者が見込まれる主にスポーツイベントを契機としたまちの賑わいづくりについて調査研究している。

豊田スタジアムでは、今年豊田市が主催となるラリージャパン2023の大会会場として設定され、芝の張替えなど大規模な工事を実施し、初のスタジアム内SSSコースが整備される。多くの観客を受け入れる環境整備や取組状況について現場を視察することで、特別委員会の調査研究に資するものとする。

2 派遣期間 令和5年11月6日（月）

3 派遣委員	委員長	板垣	清志			
	副委員長	杉浦	健史			
	委員	小島	政直	根本	美春	杉本 寛文
		岩田	淳	鈴木	孝英	福岡 靖純
		安藤	寿昭	鈴木	昌秋	武田 一夫

視察報告書【1】

委員会名	スポーツを通じたまちの活性化特別委員会	委員名	板垣 清志
視察日時	令和6年11月6日（月）午前9時00分～9時30分		
視察先・概要	豊田スタジアム内スーパースペシャルステージ（以下SSS）コース		
視察内容	豊田スタジアム内のSSSコースにおける整備状況及び取組		
選定理由	豊田スタジアムでは、11月16日～19日行われるラリージャパン2023において、芝の張替えなど大規模な工事を実施し、初めて豊田スタジアム内にて競技コースを設置する。多くの観客を受け入れる環境整備や取組状況について現場を視察することで、特別委員会の調査研究に資するものとする。		
視察概要	●豊田スタジアムでの競技コース開催における取組等について ・初の競技コースとして設定された豊田スタジアムSSSコースは、普段はサッカーやラグビー競技が行われるピッチエリアの天然芝を撤去し、厚さ5センチのアスファルトの敷設工事が行われ、工事はほぼ完了しており視察日同日の6日には報道陣へ発表される状況である。 ・コースは1周約1キロで2台が同時走行でき、立体交差方式となっておりラリーカーがジャンプする迫力あるシーンが当日楽しめる仕様となっている。 ・観客席からの実際の観戦風景や、整備における課題点などを確認した。		
評価とその理由	・豊田スタジアム内に競技コースを整備する狙いとして、コアファンに限らず、今までラリーに触れたことのないライトファン層の裾野を広げるためであるとの伺い、山間地区のコースに比べ「現地へ行きやすい」会場としては効果が期待できると思われる。 ・豊田スタジアムの内外には飲食ブースやデモカー展示、グッズ販売が充実するとのことで、それに加え、競技時はラリーカーが走行する際、ピッチ内の照明や実況など臨場感が味わえる演出が施されるのである。山間地区のコースにはないラリーの魅力発信ができる点は、従来にない取組として着目すべき視点であると考ええる。		
その他 （意見・課題など）	・競技コースを整備するにあたり、名古屋グランパスのシーズン終盤のホームゲーム2試合が開催できなくなった影響が出た点について、一部の市民やサポーターからは批判が出ているため、理解を得るための取組に努める必要がある。 ・コースの整備においては、大規模な工事のため多額の費用がかかっていることについては、大会開催後には事業費の精査など十分な検証を行ったうえで次回大会に繋げていく必要があると考ええる。		